

令和2年度ごみ処理実績

ごみ処理費用		収入	
総額	6億 2,000 万円	4,600 万円	
内 訳		内 訳	
収集運搬費	1 億 4,000 万円	ごみ処理手数料	4,030 万円
美化センター中間処理費	2 億 8,200 万円	資源売却料	370 万円
最終処分場最終処分費	4,800 万円	再商品化拠出金等	170 万円
資源化処理委託費	4,200 万円	その他収入	40 万円
施設改良費	1 億 800 万円		
ごみ 1 t あたりの処理費用：42,414 円		市民 1 人あたりの処理費用：12,211 円	

ごみ 収 集 量 合 計 14,617 t			
内 訳			
燃えるごみ	12,831 t	資源化量 (1,313t)	
燃えないごみ	103 t	新聞	77 t
粗大ごみ	443 t	雑誌	68 t
資源	1,240 t	段ボール	38 t
《市民 1 人が 1 日に出すごみの量》 令和元年度実績値 <u>796.5 g / 人・日</u> (人口 51,347 人) ↓ 令和2年度実績値 <u>788.8 g / 人・日</u> (人口 50,770 人) 対前年比 7.7 g の削減 (収集量：対前年比 311 t 削減)		牛乳パック	3 t
		鉄	20 t
		アルミ	14 t
		その他の金属	419 t
		乾電池	18 t
		びん類	211 t
		ペットボトル	61 t
		プラスチック製容器包装	294 t
		衣類等	71 t
		小型家電	7 t
		廃食油	6 t
		蛍光灯類	6 t

ごみの種類組成結果(重量比)

ごみ質分析は、法令で義務付けられているためだけでなく、焼却施設の管理、ごみ処理計画、ごみ減量計画、リサイクル・資源化のためのデータ収集など、さまざまな目的のために実施されます。

右図のとおり、排出されたごみの全体の9割以上は『可燃ごみ』です。

また、紙・布類だけで全体の約半分を占めています。引き続き、再資源化の可能な古紙・衣類等の分別の徹底をお願いします。

